



市民との協働・市民活動について

本市は、市民と行政の対等な関係における協働のまちづくりを推進しています。市民の公益活動を新たな公共的活動と位置付け、市民活動を支援・促進し、地域力の拡大を図り、地域社会を住民全体で支える仕組みづくりや市民活動「について、ニャオざねとくま博士が一緒に考えます。今回は、「協働のまちづくり」や「市民活動」について、ニャオざねとくま博士が一緒に考えます。



ニャオざね ©熊谷市

協働のまちづくりとは?

ニャオざね 博士、「協働事業提案制度」って知ってるか?

博士 もちろん知っておるぞ。市民と市が協働で事業を実施して、まちの課題を解決する制度じゃろ? たしか「熊谷の力」とか呼んでいたのう。

ニャオざね そうそう、それにや。

博士 市が課題を見つけて、それを解決するために市民からいろいろな方法を提案してもらい、協働で事業を行おうというものじゃろ?

ニャオざね それはちょっと違うにや。協働事業提案制度で取り上げるまちの課題には市民が見つけた課題もあるにや。市民がまちの課題だと思つたことを提案して、それを解決するために市と協働で事業を行うことのできるのにや。

博士 なるほど。市民が自ら

まちの課題を見つけて、それを解決するために市が協力するということもあるのじゃな。

ニャオざね そうにや。市が一方的に事業を提案・募集しているだけならせんせん協働じゃないにや。市民も事業を提案するから「協働のまちづくり」と言えるのにや。こうやって市民がま

ちづくりに積極的に参加するのが本来の自治の姿じゃないかと思うにや。

博士 ニャオざね...。色々な話題を一緒に話し合ってきたそろそろ2年になるが、ニャオざねからそんな立派な言葉を聞けるとは思わなかったぞ。成長したのう。

ニャオざね ニャオざねは熊谷市の「市民活動イメージキャ

市民活動推進課 内線330

「市民活動」にや。この手の話ならどんと来いにや!

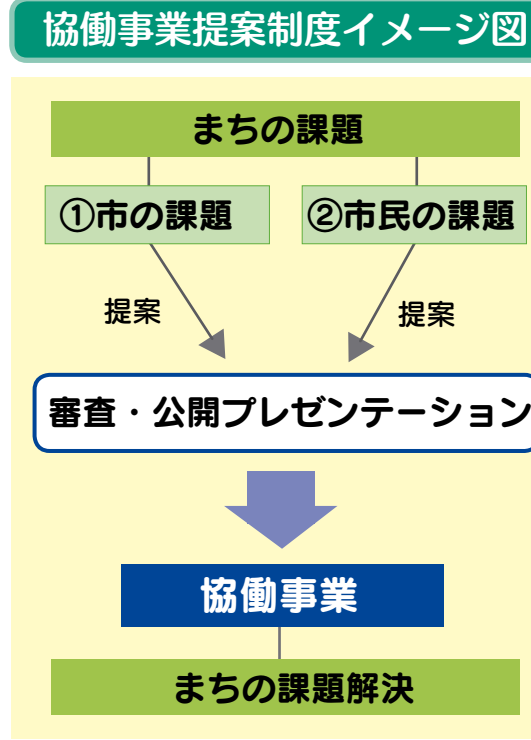
市民活動って?

博士 市民活動といえは、ニャオざねは市内の色々なイベントに顔を出しているようにやが、どこか団体には所属しておらんのか?

ニャオざね ニャオざねはフリーにや。ひとつの団体で活動するよりも、いろんな団体を暖かく応援するのがいいにや。

博士 なるほどのう。ところで、市民活動とは「市民の価値観や関心に基づく営利を目的としない自主的・主体的な公益活動」とわしの辞書には載つておるが、市内ではどのような活動が行われておるのじゃ?

ニャオざね 福祉や環境、子育て、教育、食、まちづくりなどいろんな分野の活動があるにや。活動をしているのはNPOなどの市民活



市民活動支援センター
ところ 曙町 5-67
電話 048-522-1592
定休日 月曜日



市民活動支援センター



登録団体の活動紹介コーナー

博士 市民活動支援センターか。曙町にある旧さくら館のことじゃな? しかし、

わしみたいなどこの団体にも入っていない一般の者がのぞきに行くのは、なんだか気が引けるのう...

ニャオざね そんなことないにや! 市民活動にちょっとでも興味がある人には



センターに来たほしにや。センターのスタッフもフレンドリーな人ばかりにや。

レッツ!市民活動

博士 なるほど! わしも今度センターに行つてみることにしよう。ニャオざねも一緒に

行つてくれるか? **ニャオざね** 博士どうしたの

にや? ひとりで行くのは心細いかにや?

博士 そんなことないクマ!

ニャオざね ...

博士 ... オッホン。それにしても、市民活動とは、じつに興味深いものじゃな! うん! わしも何かはじめてみたくなつたぞ!

ニャオざね ほんとかにや? なんだか無理やり話題を変えた気がするにや。

博士 そつ、そんなことはないぞ! ところで、市の市民活動団体への支援策はほかにもあるんじやろ?

ニャオざね そうくると思つて、ニャオざね調べてきたにや。なんと、熊谷市では

公益的な活動を行う市民活動団体に対して、助成金制度があるのにや!!

博士 ほお、それはどんなものじゃ?

ニャオざね 「はじめの一步助成金」といって、NPO・ボランティア団体の立ち上げ

や、新規事業の拡大に対する助成金にや。4月の市報

には詳しい情報が載らしているにや。

博士 さすが市民活動のイメージキャラクターじゃな。

ニャオざね 他にも、「市民活動保険」と言つて、防犯活動

や清掃活動など、公益性がある自主的な活動を行う団体が

加入できる保険があるにや。

市のホームページでは「市民活動情報」のコーナーがあるから、ぜひ見てほしいにや。実はニャオざねも、市のホームページで日記を書いているのにや。

博士 む? 市のホームページで日記とは?

ニャオざね あれ? 博士に言つてなかつたかにや? 去年の夏くらいから始めたにや。市内の色々なイベントに参加して、ニャオざね

目線でレポートしているにや。中でも、市民活動団体のイベントには積極的に参加しているにや!

博士 なるほど。なかなか忙しい日々を送っているようにや。

ニャオざね ニャオざねが市民活動を応援しているのには理由があるにや。これから

は市民の力がまちを良くしていく時代にや。最初に話した協働事業提案制度でも

市民活動団体が提案したものがいくつ採用されているにや。公益的な市民活動

が新しい公共のサービスになる日が来るように、ニャオざねは市民活動を応援しているのにや。

博士 なるほど。それで真冬でもはだしとTシャツ一枚

でがんばっているわけじゃな、ニャオざねは。



協働事業提案制度 鍋帽子でエコ生活事業(熊谷友の会)



協働事業提案制度 地域のふるさと森保全事業(三本自治会)

ニャオざね そうにや。みんなに市民活動に興味を持つてもらつて、市民活動の輪を

拡げるためにがんばっているのにや。博士もなにか市民活動をしたいにや!

博士 よし。ならばわしはこのコーナーを盛り上げて、市民に様々な知識を伝えるぞ!

ニャオざね それはいいこと

にや! でも、市報では話しかれないこともあるんじやないかにや?

博士 それは言えるのう。な

んせ、わしの知識は無量大

じゃからのう!

ニャオざね そういふのをぜひ市民活動のおまつり「ニャオざねまつり」で発表するにや。博士もお友だちを

あつめて5人以上のグループを作れば市民活動団体に登録できるにや。そうすれば、

来年度の「ニャオざねまつり」には間に合つにや。

博士 わしの友だちはニャオざねだけじゃ!

ニャオざね もっといっぱいお友だちをつくらなきゃダメにや。このコーナーもニャオざねばかりじゃなくて、

ほかの人もどんどん呼んであげるにや。

博士 なんじゃニャオざね、嫌なのか?

ニャオざね そ、そんなことないにや! 博士の話が長いとか、ひとりで行くのは疲

れるとか、そんなことぜんぜん思つてないにや!

博士 では、次の機会にはとつておきの話でもしようかのう。

ニャオざね 期待してるにや!



くま博士



2月11日
熊谷市消防音楽隊 第2回定期演奏会

熊谷文化創造館さくらめいとで、市の行事等で演奏し、防火・防災の啓発活動を行っている熊谷市消防音楽隊の定期演奏会が開催されました。

2月10日
特例市移行記念 国土形成フォーラム in くまがや



左から、黒川 和美氏（法政大学大学院政策創造研究科教授）、大西 隆氏（東京大学大学院工学系研究科教授）、マリ・クリスティーン氏（異文化コミュニケーション）、富岡市長

市立文化センター文化会館で、日本の将来を考えながら、熊谷市を含む首都圏内陸都市の活性化方策を探るフォーラムが開催されました。

2月2日
熊谷市内3商工会(大里・妻沼・江南)合併に関する基本協定書の調印



左から野村秀男妻沼商工会長、大久保照夫大里商工会長、富岡市長、福田重夫江南商工会長

大里商工会・妻沼商工会・江南商工会が、平成23年4月1日の合併に向けて、富岡市長立会いのもと基本協定書の調印を行いました。合併すると会員数約1,000人の商工会となります。

Topics Kumagaya

平成22年度版「熊谷市くらしのカレンダー」ができました

家庭ごみの出し方や保健に関するお知らせ、市の年間行事などを掲載した「熊谷市くらしのカレンダー」をお配りします。

自治会を通しての配付のほか、市役所、各行政センター等の公共施設でお配りしていますのでご利用ください。

※4月から来年3月までの年度版です。

◆広報広聴課 ☎内線 206



表紙

2月3日
節分豆まき



妻沼聖天山



高城神社

妻沼聖天山と高城神社で、豆まき・福まきが行われました。福にあやかろうと、多くの参拝者が訪れ賑わいました。

1月28日
手打ち煮ぼうとう・白菜漬け作り教室



農業活性化センター「アグリメイト」で、奈良加工研究会コスモスの皆さんの指導のもと、市民19人が参加し、地元産小麦を使って手打ち煮ぼうとう、白菜を使って白菜漬けを作りました。

1月21日～25日
第35回公募 熊谷市勤労者文化展



八木橋百貨店カトリアホールで開催され、絵画・書・写真・手工芸・彫刻部門に合計281点の作品が出品されました。

1月23日～2月28日
特例市記念「はかる」いろいろ～度量衡展



特例市に移行し、計量器の検定・検査事務が県から移譲されたのを記念し、市立熊谷図書館美術展示室で開催されました。モノサシ、マス、ハカリを中心に、「はかる」ものに関する資料500点以上が展示されました。

2月7日
星川だるま市



転んでも起き上がる縁起物、だるま市が、星川通りで開催されました。

おたよりパレット

テーマ

新年の抱負

新年を迎え、「新たな目標にチャレンジしよう!」という心意気が伝わりました。皆さんにとってこの1年が、素晴らしい年になることを願っています。

※おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ1月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 毎日欠かさず、日記をつけることです。その日の出来事や反省をすることで、新たな気持ちになります。(50代・女性)
- サッカーチームで、サッカーを習っています。もっとキックが強くなりたいです。(小学生・男児)
- マラソンのタイムを縮めることです。今年のさくらマラソン10kmに向け、毎日少しずつでも走りたいです。(30代・女性)
- いつも三日坊主で終わってしまうダイエットを頑張りたいと思います。あと3kg痩せて、昔のスカートをスッキリはきこなしたいです。(30代・女性)
- 昨年、定年を迎えて会社を退職したので、今年は健康の継続と少しでも地域に恩返しのできる活動ができることを目標に、頑張っていこうと思っています。(60代・男性)
- 今まで以上に家族仲良く、思いやりの気持ちを持って過ごしていきたいと思っています。(50代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「思い出の歌・曲」についてのコメントを必ず記入のうえ、3月24日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。

《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☎kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

1月号の正解
①立正 ②防火
◆応募総数99通中、正解92通

今月のテーマ、「思い出の歌・曲」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月号の問題

- 次の□に入ることや数字を、それぞれお答えください。
- ①市民と市が協働で事業を実施して、まちの課題を解決する制度を「協働事業□制度」といいます。
 - ②第20回記念熊谷さくらマラソン大会は、3月□日(日)に開催します。

今月のプレゼント

テレビ熊谷ご提供の、オリジナルTシャツを、正解者の中から抽選で10人に差し上げます。

テレビ熊谷

所在地:原島380
電話:048-526-3333



ロゴのアップ



読んで
当てよう?

市報
クイズ

情熱 世代 夢追い人



の頃遊んでいたまさにそのSLを運転できるなんて、それはもううれしかったです。現在、秩父鉄道には若手の機関士が私を含めて5人います。

電車の運転士、そしてSLの機関士へ
 実家が線路に近い場所だったので、小さい頃から毎日電車を眺めていました。そして通っていた吹上小学校には、今運転している蒸気機関車が保存されています。当時はこのSLに乗ったりして遊んだものです。そんな幼少期からの将来の夢は電車の運転士でした。
 一度は機械メーカーに就職しましたが、運転士になる夢をあきらめきれず秩父鉄道に転職しました。その頃にはすでにSLは秩父鉄道を走っていました。SLの運転経験のある人が運転していましたが、まさか自分が運転できるようになるとは思いませんでした。
 その後、秩父鉄道でSL機関士を養成することになり、平成19年に試験に合格して機関士1期生となりました。子ども



SLを、ずっと走らせたい

秩父鉄道(株)運転士・SL機関士
千代田 昌巳さん(村岡)

SLが走り続けるために
 一度は日本の線路からなくなってしまうSLですが、こうして走れるようになったからには末永く運行されるように、私自身もつと技術を身に付け、また後輩を指導していきたくと思います。さらに、SLといえば秩父鉄道というふうな存在になりたいです。
 3月からまたSLの運行が始まります。春や秋はとてきれいな景色が楽しめますので特にお薦めです。ぜひ皆さん乗りに来てください。

苦労が多いSLの運転
 SLの運転は電車とは全然違います。天気や気温などの周囲の状況はもちろんです、石炭のくべかたのちよつとした違いでも動きが変わってきます。まるで生き物を扱っているようです。3年運転してきましたが、まだまだ経験を積みまないと一人前の機関士にはなれないですね。
 SLを運転する日は朝、車庫で2時間くらいかけて点検や掃除などをして出発に備えます。そして熊谷駅から三峰口駅までの往復を運転して夕方17時に車庫に帰ってきます。1日かかりつきりになりますので顔はSLから出るススで真っ黒になります。
 苦労話ばかりになってしまいました。SLの運転は気持ちが良いですが、沿線ではたくさんの方が手を振ってくれますし、停車駅ではお客さんやSLファンの皆さんとのふれあいも楽しいですね。



出発前の点検をする千代田さん

カラダを動かし すっきり健康

基礎代謝量を上げ太りにくいカラダを!

「基礎代謝」とは、人間が生きていくために最低限必要なエネルギーです。身体に貯められたエネルギーは、基礎代謝で多く消費されますが、年齢とともに代謝が低下するため、同じ量の食事をしていてもエネルギーを消費しにくい体質になります。太りにくいカラダを作るために、運動で筋肉量を増やし、基礎代謝量をアップさせることが大切です。
 健康運動指導士 山北 修次

レッグプレス：足の筋力アップ運動



自身で筋力トレーニングを行うのは、なかなか難しいものです。スポーツ施設のトレーニングマシンを利用して筋力アップのポイントを確認してみませんか。
 週2回ほどのトレーニングがおすすめです。正しい運動で代謝を上げ、太りにくいカラダを作りましょう。

マシントレーニングのメリットは・・・「鍛えたいポイントを集中して鍛えられる」「安全に運動ができる」「運動指導を聞きながら効果的に行える」等です。

エクササイズガイド

- 効果的にトレーニング成果をあげる三大原理を紹介します。
- 「**ルーの法則**」人間の持つ機能は、適度に使うと発達し、使わなければ萎縮するというもので、基礎代謝が低下する原因のひとつを表わします。
- 「**過負荷の原理**」日常の体験で行われるよりも高い運動負荷をかけなければ体力は向上しません。
- 「**可逆性の原理**」運動効果は、トレーニング継続中は維持向上をしますが、中断すると徐々に失われていき、トレーニング期間が長ければ失われていく速度は遅く、短かければそれだけ早くなります。

◆健康づくり課 TEL 048-528-0601

人口と世帯 ●平成22年2月1日現在(対前月比)

■人口 205,852人(-128) 男 102,912人(-66) 女 102,940人(-62)
 ■世帯 81,643(-16)

●発行日 平成22年3月1日
 ●発行 熊谷市 ●編集 広報広聴課
 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
 TEL 048-524-1111(内線206)
 FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行します。
 「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所行政センター、出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>